

令和5年度事業報告

理事会3回 評議員会1回を開催しました。

施設建設の申請をしましたが、補助金は受けられませんでした。

第10回ピアノ発表会（南さつま市ホール）を多くの方の参加をいただき開催しました。ロータリークラブとの交流会・子ども劇場・夏のキャンプ・おでかけ行事・南さつま子どもの家の集い（7月2日陣取りボール投げ大会）8月15日の終戦記念日の平和を考える集い・加世田サイエンスクラブとの交流・友愛学園との親睦球技大会・舞敷野集落の稲刈り体験・クリスマスの集いなどを行いました。

又、1月27日～28日に施設独自に全員でデズニーランド旅行を実施しました。例年通り2月には参加希望者は日本フィルハーモニーのコンサートに出かけました。

職員の研修はトラウマインフォームドケア研修・グループワーク研修・暴力を用いない危機への対応方法研修を施設内で取り組み、県外の研修もWEbにて参加をしました。

児童家庭支援センターの延べ相談件数は1,415件となり家族と子どもの問題がまだまだ掘り起こされていないと考えています。市町村・学校向け研修・里親等への支援・関係機関との連絡調整など活動しました。一方児童相談所の対応については様々の課題が続く年でした。

南さつま市からの委託事業の利用者支援事業が、延べ291件でした。ファミリーサポート事業研修参加者延べ46名でした。（依頼会員53名 提供会員35名 両方会員3名）活動実績は延べ192件となりました。利用者支援事業は205件でした。

同じく委託事業であるスクールソーシャルワーカー（小中学校8校）は575件の活動を行いました。

南薩4市からの、トワイライトステイ依頼107日 ショートステイ依頼74日 と増加していますが、入所している子ども達との関係や職員配置の関係から増加に対応できるか心配な状況です。

一時保護委託は延べ1,301人であり、前年度（延べ428人）よりは大幅に増加しましたが、一時保護の長期化傾向がその原因であり、子どもの教育を受ける権利や不安定な状態に課題を残しています。又入所している子どもの不安定さにもつながるため鹿児島県・児童相談所と申し入れをしていますが、具体的な回答はありません。

30年ほど継続している不登校相談は、延べ400件の相談となっています。

施設全体としては、子ども・職員とも大きな問題もなく穏やかに生活できた一年でした。